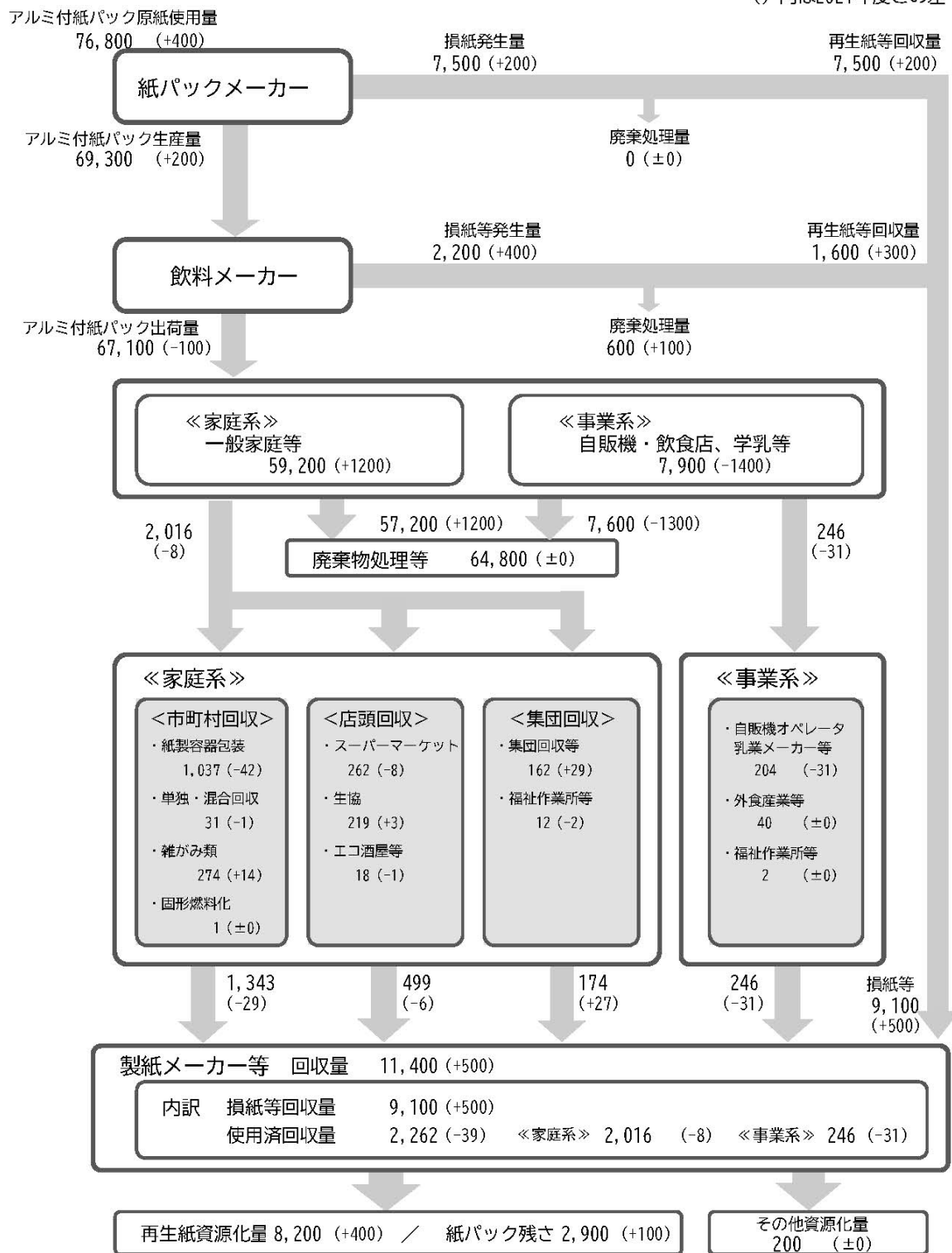


2022 年度アルミ付紙パックのマテリアルフロー

単位：トン
() 内は2021年度との差



※ 飲料メーカーから排出される再生紙等回収量には固形燃料化分を含む。

(注) 原則、100トン未満を四捨五入し100トン単位で表示。ただし、使用済回収量は1トン単位で表示している。

単位未満を四捨五入しているため、合計値として示している値と、内訳を合計したものが一致しない場合がある。

アルミ付紙パックの回収率(出荷前の損紙・古紙を含む) = 11,400t / 76,800t = 14.8% (前年度14.3%)

使用済アルミ付紙パックの回収率 = 2,262t / 67,100t = 3.4% (前年度3.4%)

出典：アルミ付飲料用紙容器のリサイクルフロー調査報告書（2022 年度実態）（印刷工業会液体カートン部会/株式会社ダイナックス 都市環境研究所）